

南山 女岩

クライミング

2022年12月04日

参加者：桐林、K分 (フリー)



女岩 真ん中やや左が顕著なバンド

会社の同期で部屋が隣の方の外岩リード練習ということで、南山に行った。この方、ボルダー初段・インドアリード11a! の実力者なのに、全く外岩リードができない…。笠置と立岩に続き3回目のトライをしてきた。

朝6時、浜松出発。8時過ぎごろに現地到着。人気の南山は、もう車がいっぱい。飲み会後の顔で起きてきた人がパラパラいた。女岩が一番乗り。まずは寒いので懸垂の練習をした。厚手の革手袋？焚火かよと突っ込みたくなるグローブで懸垂K分氏。初めてにしては、びびっていない。

まずは、①左Ⅰルートを私がリード。最初の緊張感はやはり外岩。前回の6月よりは、楽しめる余裕があった。しかもその時は、リード2回目。ロワーダウンで、60 m があと1m余る程度。ギリギリ。

トップロープでK分氏に登ってもらう。行きの車から、怖い怖いと散々言っていたが、降りてきてまた怖いと鎮痛な面持ち。正直ケツを叩いて、リードしろと、怒鳴りたくなった。岩の前で怖さに負けてしまうと、踏ん切りが付かないので、我慢。結局リードはなし…。

気を取り直して②左Ⅱルート下部をバンド手前できり、トップロープを張った。この3ピンだったらリードできさるだろうと、トップロープで2回登らせた。無理無理無理と顔が訴えていたので、子供を岩登り体験させている[東海山岳会](#)だった方に協力していただき、煽っていただいた。そのおかげもあってか、外岩2回目のリードができた。成功体験を積み、怖さを楽しさが上回れば急激に成長するのになあと、焦る気持ちもあれど人によると感情を突き放した。

最後は③のバンドルートを行き、完了。下から見ていたK分氏が4級のムーブだったと言っていて、確かに4級だと納得した。現在インドアボルダリングがスラブ2級・急傾斜は3級を落とせるかどうか、4級は大体フラッシュできるレベル。スムーズに登れたのは成長している証拠だと実感した。降りてきてK分氏に登ってみたかった？と聞いてみるとやってみてみたかったと言っていた。

過去を振り返った時に、記録が役立つことを願う。